

令和4年度事業計画書

自 令和4年7月1日

至 令和5年6月30日

1. はじめに

コロナの流行から3年、以前の日常へのスタートとなるような一年としたいと思います。

コロナとの共生が叫ばれています。いろいろな情報を咀嚼し、適切な方法を取りたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2. 協会の運営について

感染力は強いが、重症化の割合は少ないといわれるコロナウイルス感染症に対応します。

必要な防御態勢をとり対面実施での各種会議を行いたい。また、IT通信を使った連絡や内容によってはWEB会議での実施を行います。

社員総会及び理事会の運営を公益法人に関する法律に則り行います。

「国土の利用、整備又は保全を目的とする事業」・「地域社会の健全な発展を目的とする事業」に該当する「土地家屋調査士及び土地家屋調査士法人が協働し、国民の不動産に関する権利の明確化と相隣関係の安定を推進する事業」を推進していくことに努力します。

次の情報公開をします。

定款、役員報酬に関する規則、監事報酬に関する規則、事業計画書、予算書、事業報告書、貸借対照表等の決算報告書、社員名簿の公開

また、個人情報の適切な管理を実行します。

新たなる社員の入会と財務体質の強化を継続します。

全国公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会及び東北ブロック公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会並びに日本土地家屋調査士会連合会及び秋田県土地家屋調査士会との情報交換を行い、公益法人インフォメーションの情報などに従い、活動していきます。

コロナにより失われた人間関係の復活と人間性の再醸成を願いたい。

3. 公益目的事業について

本協会の定款第3条（目的）には次のように記載されています。

本協会は、官公署等の公共の利益となる事業を行う者の依頼を受け、社員たる土地家調査士及び土地家屋調査士法人の不動産の表示に関する登記に必要な調査若しくは測量又はその登記の嘱託、若しくは申請を適正かつ迅速に実施し、不動産の権利の客体を明確にし、国民生活の安定と地域社会の健全な発展に寄与する事を目的とする。

さらに定款第4条（事業）には次のように記載されています。

本協会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 不動産の表示に関する登記について必要な土地又は家屋に関する調査又は測量
- (2) 不動産の表示に関する登記の嘱託手続き又はこれに関する審査請求の手続きについての代理
- (3) 不動産の表示に関する登記の嘱託手続きについて法務局または地方法務局に提出し又は提供する書類又は電磁的記録の作成

- (4) 法務局備え付けとなる地図の作成
- (5) 前各号に掲げる事務についての相談
- (6) 災害発生時の復興に関する不動産の相談及び調査業務の支援
- (7) その他本協会の目的を達成するために必要な業務

本協会の目的を果たすため、以上の事業を行います。

これらは、公益目的事業である「土地家屋調査士及び土地家屋調査士法人が協働し、国民の不動産に関する権利の明確化と相隣関係の安定を推進する事業」に該当し、並びに土地家屋調査士の不動産の表示に関する登記及び土地の筆界を明らかにする業務の専門家としての使命を果たします。

そして、土地家屋調査士としての品位を保持し、公正かつ誠実に業務を行います。

【公1-1 公共嘱託登記に係る受託事業】

公共嘱託登記業務を適切に処理することにより、公共事業や官公署等の所有地の有効利用の事業促進に寄与し、その効果は不特定多数の国民にその反射的利益が及びます。その結果は登記情報として公開され、公益に資することになります。公益法人としての意識を忘れずに業務いたします。

また、自然災害等の被災地方自治体に対し地方税法第381条に関する不動産の表示に関する登記（固定資産課税台帳の登録事項）につき、概ね激甚災害法にて指定を受けた範囲においてその申出、関連する調査測量を本協会に対応し、できる限り受託して登記事務支援活動（地方税法にも援用される）を行うこととしております。

そのため、他の公共嘱託登記土地家屋調査士協会と災害支援協定を結び、当該地域の協会、社員が被災し地方自治体に対し行う災害支援活動に支障が生じる時には財政的支援、物的支援、人的支援が迅速に行えるように準備して参ります。

【公1-2 法務局備え付けとなる地図の作成受託事業】

16年間継続受注しております、秋田地方法務局発注の不動産登記法第14条に規定されている地図の作成作業は、昨年度の基準点作業に続き、秋田市飯島地区（飯島新町一丁目、同二丁目、飯島西袋二丁目、将軍野青山町、将軍野堰越の全部）の境界確認・地図作成作業を実施いたします。

【公1-3 公共嘱託登記事務及び調査測量並びに地図に関する相談事業】

公共嘱託登記事務及び調査測量並びに地図に関する相談は随時無料で実施します。

【公1-4 公共嘱託登記事務及び調査測量並びに地図に関する研修事業】

上智大学法科大学院 楠茂樹教授により、ご講演をお願いしています。

外部講師などによる研修会は、官公署等の職員とともに知識を修得する機会であり、社員及び協会の公益法人としての熟度を高めるものであります。

【公1-5 災害発生時における復興支援に関する協定書に基づく支援事業】

災害時の罹災証明書発行の迅速化、並びに不動産登記及び境界問題等の相談に資するため、秋田県との災害発生時における復興支援に関する協定書による「不動産登記及び境界問題等の相談業務」と「市町村が実施する住家の被害認定調査業務」を公益目的事業として活動しております。罹災証明書の発行につきましては、市町村職員の現地調査の補助業務を行います。

以上、事業計画書といたします。